

平成27年度 高山村立高山中学校グランドデザイン

《学校目標》
自ら学び 高みゆく
 ~生徒自身が興味・関心・意欲をもって
 よりよい自分づくり・仲間づくりへの高まりを追い求めてゆく~

【保護者・地域の姿】
 ・行事や生徒会・部活動等、学校教育に協力的である。
 ・PTA活動に協力的である。
 ・子どもの学力向上、安心・安全な学校づくりへの期待が高い。
 ・健全な生徒の育成を願っている。
 ・村からの学校支援が厚い。
 ・悩みを有する家庭が増えている

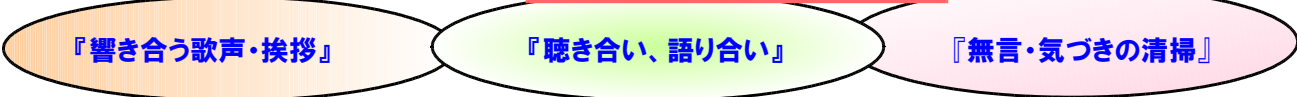
【生徒の姿】
 ○規範意識のある生徒が多い。
 ○授業や生徒会活動等諸活動に誠実に取り組むことができる。
 ○挨拶や歌声を大切にしようとしている。
 ○無言清掃に積極的に取り組んでいる。
 ○自分を表現する力が高まりつつある。
 △思いやれるが、採まれる経験が少ない。
 △思いが先行し、現実に即しながら、工夫して取り組む姿勢がやや弱い。
 △教科、領域、分野によって学力の定着に差が見られる。(習得、発達)
 △家庭学習への取り組みに差が見られる。

めざす姿
 学校：家庭・地域との連携を深め、地域に開かれた、信頼される学校づくり
 生徒：何事にも明るく積極的に関わり、自らを高めていく強い意志を持つ生徒
 相手を尊重し、互いに磨き合って成長していくことを自覚できる生徒
 職員：生徒に対して常に真正面から向かい合うことのできる職員、職員集団
 生徒育成を第一義とし、日頃の具体的な取り組み・向かい合いを工夫・継続
 同僚性に満ち、互いを高め合う職員集団

【学校長の願い】
 学校目標の先の目指す姿として、これからの高山村を担う人材に育てたい。

めざす姿に迫るための支援

今年度の重点活動



共通認識で進める取り組み
 ◆不登校、不適応生徒への指導・支援の向上と未然防止
 ◆学力向上の取り組み(授業改善・家庭学習の充実)
 ◆個に寄り添った生徒・生活指導と問題行動の未然防止
 ◆基本的な生活・学習習慣を向上させる指導の充実(食育等)

基礎・基本を身につけ、連続的な学びができる自分づくり

◎授業活発(学力充実)
 ○基礎・基本の定着
 ・具体や生活と関連付けた“分かる授業”の実現
 ・課題の明確化とねらいの達成の見とどけ
 ・しっかり“聴く”姿勢づくり
 ・自分の思いを“はっきり話す”姿勢づくり
 ・“できる”につながる家庭学習(主体的学習)
 ○学力の保障
 ・30人規模学級指導・TT指導の充実
 ・授業のユニバーサルデザイン化(授業研究会)
 ・特別支援教育体制、個別指導の充実
 ・NRT等による学力の分析を生かした指導
 ・「高みゆく時間」による補充補強学習(週4回)
 ◎読書黙考
 ○朝読書を通しての落ち着いた一日の始まり
 ・前、後期読書旬間
 ◎郷土愛着
 ○「総合」の時間を中心とした、“故郷^{ふるさと}高山村と私、の学習(地域課題の把握・学習・村への提案)
 ○キャリア教育の充実
 ・目的意識のある進路設計
 ・職場体験学習の推進と報告
 ・故郷たかやまデー → 紅葉祭・中学生議会で発表
 ◎清掃無言
 ○「無言・気づきの清掃」による心育(黙想)
 ○生徒会を主体とした取組 → 縦割り清掃等

お互いを尊重し合える仲間づくり

◎挨拶愛語
 ○挨拶運動等を通して関わりを広め深める
 ○人間関係づくり・コミュニケーション能力の育成(WS)
 ◎歌声響合
 ○歌声を通して伸び伸びと表現する生徒の育成
 ○学級・学年での歌声づくり(協力と成功体験)
 →音楽会・響けみんなの歌声集会での発表
 ◎人権尊重
 ○「友達憲章」を基盤とした豊かな人間性の育成
 ・学級友達憲章づくりと発表
 ○豊かな感受性・人権感覚の育成、適切な判断ができる生徒の育成(前、後期人権教育強調月間)
 ○所属感・存在感のある学級づくり
 ○Q-Uによる集団分析とその活用(学級経営案)
 ◎自尊感情の醸成
 ○授業や特別活動を通しての生徒理解とカウンセリング
 ○学習や活動を通しての成功体験
 ◎規範意識に支えられた集団づくり
 ○節度・メリハリのある生活
 ・時間 ・言葉遣い ・物の扱い

「皆進」の実践
 ・会員の意見を取り入れる
 ・常時活動を大切にする
 ・挨拶、清掃、歌を発展させる

生徒会

信頼される学校づくり

◎安全な学校
 ○危機管理の充実
 ○登下校時の安全指導
 ○個人情報保護
 ◎PTAとの連携
 ○PTA各種事業の推進
 ○参観日での発信
 ◎学級だより、学年だより、学校だより、HPによる情報の発信
 ◎学校自己評価の実施と公表
 ◎小・中の連携
 ○小・中合同教職員会の実施
 ○小・中交換授業参観等の研修
 ◎地域行事への積極的参加
 ◎職員の研修・研鑽・評価

平成27年度 「更なる学力向上に向けて」
 ◎生徒が主体となり、探究的に学ぶ場面づくり
 →・授業がよくなる3観点の「見とどけ」の時間確保
 ・協働的に課題を解決する学習活動の導入
 ◎学習内容の確実な定着化を図る家庭学習
 →・「家庭学習の手引き」の活用